

デュプリケートコントローラ機能

ユーザーマニュアル
— Version: 1.0J —

注意!!
一度電源を切ってから再度電源を投入する際は、
機器の故障を防ぐため、5秒以上待ってから電源
を再投入してください。

ACARD
TECHNOLOGY

Copyright©2009 ACARD Technology Corp.

Release: Jan 2009

CE FC

Copyright and Trademarks

The information of the products in this manual is subject to change without prior notice and does not represent a commitment on the part of the vendor, who assumes no liability or responsibility for any errors that appear in this manual.

ACARD and SCSIDE are the trademarks of ACARD Technology Corp.

This manual contains materials protected under International Copyright Laws. All rights reserved. No part of this manual may be reproduced, transmitted or transcribed without the expressed written permission of the manufacturer and author of this manual.

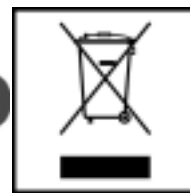
ACARD's Duplicate Controller is used for copying and editing personal audio and video data. Violating Copy Right is a criminal act. ACARD's Copy Controller only supports legal backup operation.

ACARD Technology Corp. is not responsible for illegal recording.

目次

1 章 パネルの解説	5
2 章 機能解説	6
2.1 コピー	8
2.2 テスト	8
2.3 テスト&コピー	9
2.4 ベリファイ	9
2.5 コンペア	10
2.6 プリスキャン	10
2.7 ディスク情報	11
2.8 ソース選択	11
2.9 イメージ	12
2.9.1 読み込み	12
2.9.2 イメージの消去	12
2.9.3 イメージ情報	13
2.9.4 イメージのコンペア	13
2.9.5 イメージの選択	14
2.9.6 イメージ元ドライブの設定	14
2.9.7 イメージ形式の情報	15
2.9.8 タイトル編集	15
2.10 トラックエディット (CD 使用時のみ)	16
2.10.1 CD to CD エディット	16
2.10.2 CD to HDD エディット	18
2.10.3 オーディオトラック再生	21
2.10.4 セッションの終了	22
2.11 セットアップ	22
2.11.1 言語設定	23
2.11.2 CD 書き込み速度設定	23
2.11.3 DVD 書き込み速度設定	23
2.11.4 読み込み速度設定	24
2.11.5 自動スタートさせるドライブの設定	24
2.11.6 スタートアップメニューの設定	24
2.11.7 自動ベリファイ設定	24

2.11.8	自動コンペア設定	25
2.11.9	自動プリスキャン設定	25
2.11.10	ディスク取り出し	25
2.11.11	直接コピーの設定	26
2.11.12	書き込みモード	26
2.11.13	時間表示設定	26
2.11.14	ボタン音の設定	27
2.11.15	デバイス情報	27
2.11.16	システム情報	27
2.11.17	クイック消去	28
2.11.18	全消去	28
2.11.19	自動トレイクローズ設定	29
2.11.20	クイックコンペア	29
2.11.21	オーディオ CD 書き込み速度	30
Chapter 3	トラブルシューティング	31
3.1	LCD 関連	31
3.2	エラーメッセージ関連	31
3.3	DVD-ROM/DVD ライター関連	31
3.4	ボタン関連	31
3.5	コピーしたディスクが読み込めない場合	31
3.6	頻繁に書き込みに失敗する場合	31
3.7	ファームウェアアップデート	31
補遺		32

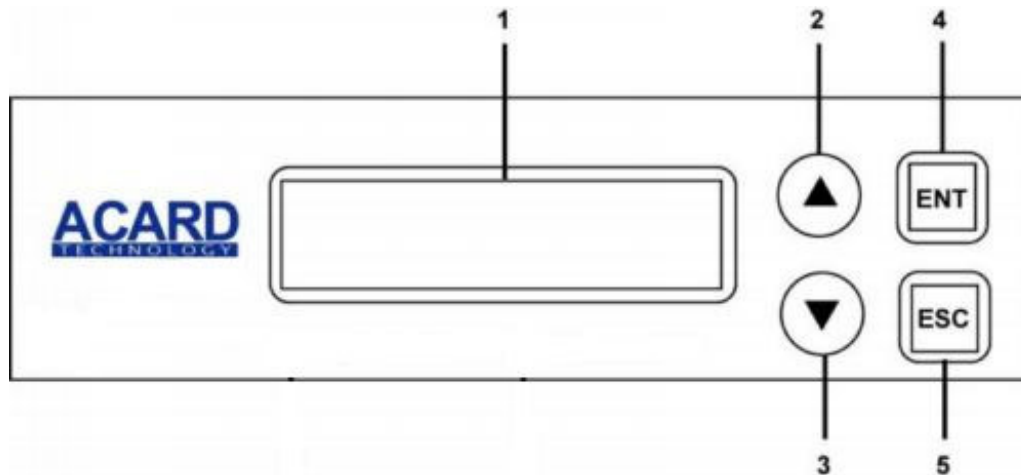
**WEEE Statement****Japanese**

増大し続ける電気、電子製品廃棄物問題に取り組み、ごみ処理の負担を減らすため、また有害物質の排出を防ぐため、EUは電気/電子製品による廃棄物に関する指令(Waste Electrical and Electronic Equipment)を策定しました。それにより、メーカーには電気/電子廃棄物を適切に収集、リサイクル、処理することが求められます。WEEE加盟国は、2005年8月13日にリサイクルシステムを設立しました。これによって、ACARD社はドイツに輸出した製品についてリサイクルに関する責任を負います。リサイクルが必要なACARD製品については各地域の回収業者にご依頼ください。

1 章 パネルの解説

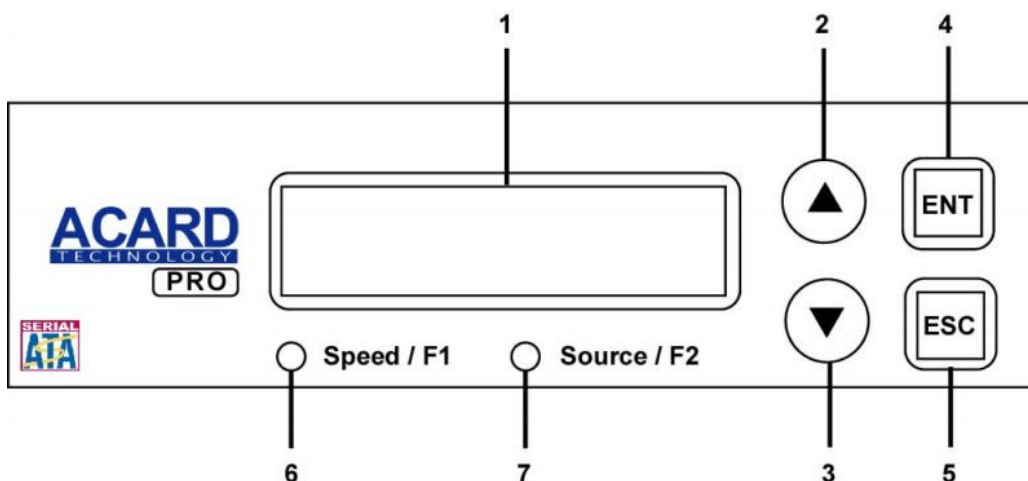
IDE 対応コピーコントローラ全モデル、及び SATA 対応コピーコントローラのスタンダードモデルには、前面パネルに4つのボタンとLCDパネルが配置されています。

1. 機能やメッセージを表示します。
2. メニューや設定を上スクロールします。
3. メニューや設定を下スクロールします。
4. 決定ボタンです。
5. キャンセルボタンです。



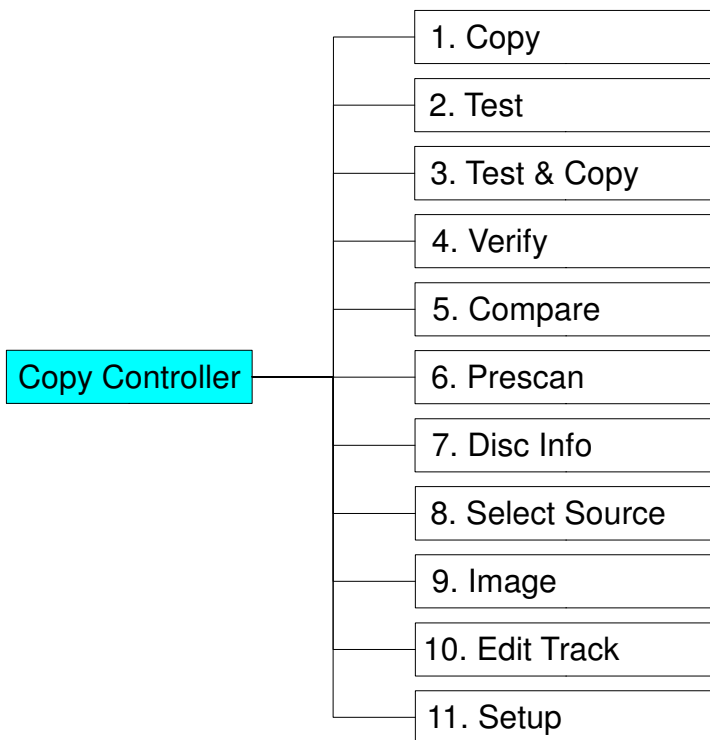
SATA 対応コピーコントローラのプロフェッショナルモデルには6個のボタンとLCDパネルが配置されています。

1. 機能やメッセージを表示します。
2. メニューや設定を上スクロールします。
3. メニューや設定を下スクロールします。
4. 決定ボタンです。
5. キャンセルボタンです。
6. “スピードメニュー”にジャンプします。
7. “ソースメニュー”にジャンプします。

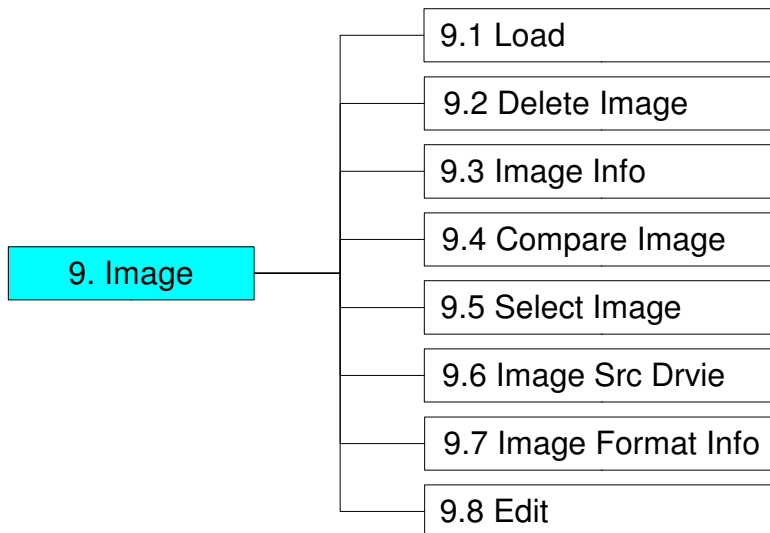


2章 機能解説

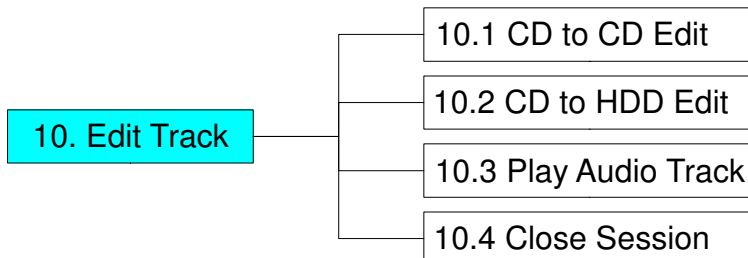
コピーコントローラには11の主要な機能があり、以下のうち、9、10、11にはその下にサブ機能が存在します。



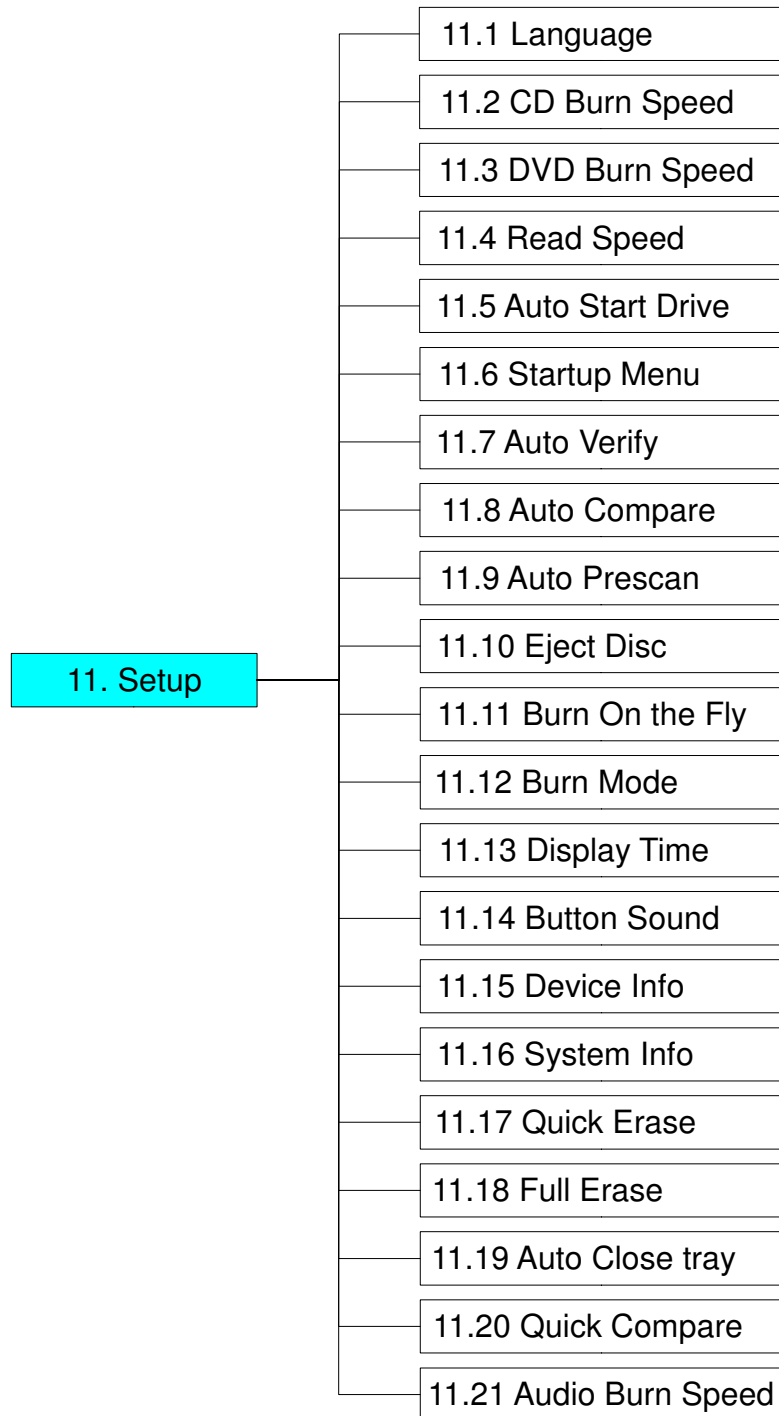
機能9(Image)にはその下に8個のサブ機能があります。



機能10(Edit Track)にはその下に4個のサブ機能があります。



機能11(Setup)にはその下に21個のサブ機能があります。



11個の主要な機能のうち、機能10(Edit Track)は、オーディオCDからお気に入りの曲をエディットすることに特化した機能です。操作の際にLCDのメッセージがわからない場合は、補遺(p.34)を参照してください。

2.1 コピー

機能1(Copy)は、ソース(元ディスク/イメージ)から、ターゲットドライブ(書き込みドライブ)に、インスタントコピーを行う機能です。コピーの前に、ソースDVDが読み込みドライブにセットされているか、またはハードディスクを使用している場合は特定のパーティションにデータが入っているか確認してください。コピー前にコピー可能か確認したい場合、機能2(Test)を使用してください。

機能1を選択し、読み込みドライブにソースDVDをセットし、書き込みドライブには空のメディアをセットしてください。すでにデータが入っているリライタブルDVDも使用可能です(データは自動的に消去されます)。

1. Copy

読み込みドライブと書き込みドライブがそれぞれDVDを検出したら、決定ボタンを押してコピーを開始します。LCDは下記のようにコピー情報を表示します。

Copying-DVD	0%
4213.4MB	7:30

コピー中は、コピー完了率が上昇、“MB”と残り時間の値は減少していきます。“MB”は現在コピーしようとしているデータ量を示します。

コピーが完了すると、LCDにはコピー結果が表示され、コピーが終了したDVDは自動的に取り出されません。

1. Copy
OK: 07

2.2 テスト

機能2はデュプリケート機能のシミュレーションをする機能です。メディアへのデータ書き込みは行われません。

機能2を選択し、読み込みドライブにソースDVDをセットし、書き込みドライブには空のメディアをセットします。なお、テスト機能が利用可能なのは、DVD-R規格のディスクのみです。

2. Test

決定ボタンを押して、シミュレーションを開始します。データの入っているDVDリライタブルディスクを使用している場合、LCDに下記のように表示され、データは自動的に消去されます。

Erasing disc

LCDにはテストの情報が表示されます。

Testing-DVD	0%
4213.4MB	7:30

テストが終了すると、以下のようにテスト結果が表示されます。

2. Test
OK: 07

テスト中にテストを停止しても、DVDには影響ありませんが、データの入っているリライタブルディスクを使用している場合、データは破損します。

2.3 テスト&コピー

機能3(Test&Copy)は、最初にテストを行った後、実際のコピーを行います。

機能3を選択し、読み込みドライブにソースDVDをセットし、書き込みドライブには空のメディアをセットします。

3. Test & Copy

決定ボタンを押して、シミュレーションを開始します。LCDには以下のようにテストの情報が表示されま

Testing-DVD	0%
4213.4MB	7:30

テストが終了すると、実際のコピーが始まり、LCDには以下のように表示されます。

Copying-DVD	0%
4213.4MB	7:30

すべてのプロセスが終了すると、LCDには以下のように結果が表示されます。

3. Test & Copy
OK: 07

注: テストにパスしたディスクはすぐにコピーが開始され、テストにパスしなかったディスクにはコピーが行われません。

2.4 ベリファイ(ARS-2039にはこの機能はありません)

機能4(Verify)は、CD/DVDに書き込まれたデータを検証する機能です。

機能4を選択します。

4. Verify

決定ボタンを押すと検証が開始されます。LCDは以下のような表示になります。

Verify-DVD	0%
4213.4MB	7:30

検証が終了すると、以下のように結果が表示されます。

4. Verify
OK: 07

2.5 コンペア (ARS-2039にはこの機能はありません)

機能5(Compare)は、コピー終了後に、ソースDVDとターゲットDVD間で比較を行い、同一の内容かどうかを確認する機能です。

機能5を選択し、読み込みドライブにソースDVDをセットし、書き込みドライブには空のメディアをセットします。

5. Compare

決定ボタンを押すとコンペアが始まり、LCDにはコンペアの情報が表示されます。

Compare-DVD	0%
4213.4MB	7:30

コンペアが終了すると、LCDには結果が表示されます。

Compare	OK: 7
Fail: 0	Diff: 0

決定ボタンを押すと、ソース1の詳細が表示されます。

Src: 02 DVD-RW
Identical

コンペアに失敗すると、LCDには失敗された旨が表示されます。決定ボタンを2回押すと、LCDにはソース1とソース2で内容が一致しない旨が表示されます。

Src: 02 DVD-RW
TOC not match

2.6 プリスキャン

機能6(Prescan)は、ソースドライブが正しく読み込み可能かを検査し、それによって読み込み速度のテストを行う機能です。

機能6を選択し、読み込みドライブにソースDVDをセットします。

6. Prescan

決定ボタンを押すとプリスキャンが始まり、LCD にはスキャンの情報が表示されます。

Scanning-DVD 0%
4213.4MB 7:30

スキャンが終了し、ソース DVD が正常に読み込みできる場合、LCD には結果が表示されます。

PreScan OK!

2.7 ディスク情報

機能 7(Disk Info) は、ソースディスクに関する簡易レポートを表示する機能です。

機能 7 を選択し、ソース DVD を読み込みドライブにセットしてください。

7. Disc Info

決定ボタンを押すと、LCD に以下のような DVD 情報が表示されます。

Disc Type: DVD-ROM
4213.4MB 7:30

2.8 ソース選択 (ARS-2040PX 及び ARS-2050P では、ソースとして選択可能なものは CH00 から CH05 までになります)

機能 8(Select Source) は、ソースとなるドライブを選択する機能です。

機能 8 を選択します。

8. Select Source

決定ボタンを押し、▲▼ボタンを押して下記画面のようにソースドライブを選択します。

Src: DVD-ROM
01 IDE1 Master

ソースとなるドライブを決めたら、決定ボタンを押すと、以下のようにソースドライブが設定されます。

DVD-ROM selected

HDDをソースとして選択し、任意のパーティションからコピーしようとした際、そのパーティションにデータがない場合、LCDにはエラーメッセージが表示されます。このとき、データの入っている別パーティションに切り替えるか、機能9(Image)を使用して空のパーティションにイメージを作成することができます。

2.9 イメージ

機能9(Image)は、デュプリケータにハードディスクを接続時のみ使用可能です。機能9には、以下の7個のサブ機能があります: Load、Delete Image、Image Info、Compare Image、Select Image、Select Source Drive、Image Format Info。ソースとなるDVDからHDDに作成したデータは”イメージ(Image)”と呼ばれます。

最初に機能9を選択します。

9. Image

2.9.1 読み込み

決定ボタンを押すと、以下のような画面になります。ここでは、ソースドライブとして設定したドライブから、現在のパーティションにデータを読み込ませることができます。LCDの”P:A”という表示は、現在パーティションAに入っていることを意味します。

9-01. Image P:A
Load

決定ボタンを押すと、読み込み (Load) が始まります。LCDにはローディング中の情報が表示されます。

Load-A-DVD 0%
4213.4MB 7:30

イメージファイルのロードに成功すると、LCDには以下のように結果が表示されます。

Image load OK

現在のパーティションにすでにイメージファイルが存在している場合、システムは上書きしてよいか確認を求めます。▲▼ボタンでYes/Noを決定します。

Image Exists
Overwrite ? Yes

2.9.2 イメージの消去

任意のパーティションに存在するイメージファイルを消去したい場合、イメージの消去 (Delete Image) の機能を使用します。▼ボタンを押して機能9-2を選択します。

9-02. Image P:A
Delete Image

システムは本当にイメージを消去して良いか確認を求めます。▲▼ボタンでYes/Noを決定します。

Delete Image ? Yes
A: Untitled!!

イメージファイルが消去されると、LCD には結果が表示されます。

Partition A:
Image is deleted

2.9.3 イメージ情報

この機能では、任意のパーティションに存在するイメージの基本的情報を取得します。▼ボタンを押して、機能 9-3 を選択します。

9-03. Image P:A
Image Info

決定ボタンを押すと、現在のパーティションに存在するイメージの情報が以下のように表示されます。

Img Type:DVD+R
Capacity: 4213.4MB

2.9.4 イメージのコンペア

この機能で、ソース DVD の内容と、現在パーティションに存在するイメージの内容を比較検証します。▼ボタンを押して、機能 9-4 を選択します。

9-04. Image P:A
Compare Image

決定ボタンを押すと、LCD には以下のようにイメージファイルの情報が表示されます。

Com-A-DVD 0%
4213.4MB 7:30

コンペア (比較検証) が終了すると、LCD には結果が表示されます。

Compare OK: 1
Fail: 0 Diff: 0

その後、決定ボタンを押すと、以下のようにソースの情報が表示されます。

Src: 01 SUPER MUL
Total: 4213.4MB

さらに決定ボタンを押すと、ターゲットとなるパーティションの詳細情報が表示され、比較検証に成功していれば、以下のように「同一(Identical)」の表示がされます。

Tgt: 00 HDD P:A
Identical

比較検証に失敗した場合、LCDにはその旨が表示されます。決定ボタンを2回押すと、LCDにはソースとターゲットが一致しなかった旨が表示されます。

Tgt: 00 HDD P:A
TOC not match

2.9.5 イメージの選択

この機能で、ハードディスク内のパーティションを選択します。▼ボタンを押して、機能9-5を選択します。

9-05. Image P:A
Select Image

HDDを接続すると、コピーコントローラは自動的にHDDをフォーマットします。各パーティションサイズは5GBとして区切られます。パーティションの数はお使いのHDD容量に依存します。各パーティションにはアルファベットでパーティションレターが割り振られます。▲▼ボタンを押して、パーティションを選択すると、LCDは以下のような表示になります。

Select Partition
A: DVD 4213.4MB

パーティションが選択されると、LCDは以下のような表示になります。

Set Partition to
A

2.9.6 イメージ元ドライブの設定

この機能は任意のパーティションにイメージを読み込む際に使用するドライブを指定する機能です。

▼ボタンを押して、機能9-6を選択します。

9-06. Image P:A
Image Src Drive

次に、▲▼ボタンを使って、ソースとして指定するドライブを選択します。

Select Img Src:
01 CH01 S-MUTLI

ソースとなるドライブを指定すると、LCDには以下のように表示されます。

Load image from
Drive ID-01

2.9.7 イメージ形式の情報

この機能で、HDD がどのようにフォーマットされているか確認することができます。この機能は、12.4Format HDD(HDD のフォーマット) と関連します。3 通りのフォーマット方法が選択可能です：CD、DVD、DL(Double Layer、2 層式 DVD)

▼ ボタンを押して、機能 9-7 を選択します。

9-07. Image P:A
Image Format Info

決定ボタンを押すと、以下のように LCD に表示されます。”Auto” は DVD 向けに HDD がフォーマットされた状態です。

Image Format Info
Auto

2.9.8 タイトル編集

この機能で、任意のパーティションに名前をつけることができます(ただし、イメージファイルがタイトル変更可能な場合のみ)。はじめに▼ボタンを押して、機能 9-8 を選択します。

9-08. Image P:A
Edit

決定ボタンを押します。タイトルは最大 13 文字までとなります。使用可能な文字はアルファベットと数字のみです。▲▼ボタンで数字とアルファベットを選択し、決定ボタンで入力します。

Edit Title
?

タイトルの入力を終え、決定ボタンを押すと、以下のような表示となります。

Edit Sub1 Title
?

Sub1 Title ではサブタイトルをつけることができます。もう一度決定ボタンを押すと、サブタイトル 2 をつけることができます。タイトルの編集が完了すると、以下の画面が表示されます。

Edit Title
OK!

2.10 エディットトラック(CD使用時のみ) (ARS-2039にはこの機能はありません)

機能 10(Edit Track) はオーディオ CD からお気に入りの音楽を編集することに特化した機能です。つまり、個々のオーディオ CD から好みの曲を選び、ひとつの CD に収録することのできる機能です。この機能には 4 つのサブメニューがあります: CD to CD、CD to HDD、Play Audio Track、Close Session。

▼ ボタンを押して、機能 10 を選択します。

10. Edit Track

2.10.1 CD to CD エディット

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。CD to CD Edit の機能では、CD から好きな曲を選び、空の CD にコピーすることができます。

10-01. Edit Track
CD to CD Edit

もう一度決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。”1/10”の表示は、10トラック中の一曲目という意味です。また、”3:25”のような表示はトラックの再生時間です。

Select Track:
1/10 03:25

▼ ボタンでトラックの移動が可能です。収録したい曲を決めたら決定ボタンを押します。トラックナンバーの横に”+”が表示され、曲が選択されたことを示します。この状態でもう一度決定ボタンを押すと、”+”が消え、選択が解除されます。

Select Track:
+1/10 03:25

曲の選択を終えたら、▲ボタンで”End に合わせます。

Select Track:
End 1Trk03:25

決定ボタンを押すと、CD 編集を終了し、▲▼ボタンで書き込みを開始するかどうか選択します。

End edit disc
and burn?Yes

LCD にはコピーの状態が表示されます。

Copying-24X Edit
1/10 -> 1/1

“1/1” のような表示は、選択された曲数のうち現在何曲目のコピーが進行中かを意味しています。コピーが終了すると、LCD には以下のように表示されます。

Burn Complete!
OK: 07

システムは編集を続行するか確認を求めます。▲▼ボタンで Yes/No を選択します。

Continue edit
next Disc?Yes

編集を続行する場合、ソースドライブのトレイが自動的に開き、システムは次に使用したい CD をセットするよう表示します。

Insert next disc

次に使用する CD をセットし、決定ボタンを押して同様に編集を行います。

Select Track:
+2/10 04:25

曲の選択を終えたら、▲ボタンで” End に合わせます。

Select Track:
End 1Trk04:25

決定ボタンを押すと、CD 編集を終了し、▲▼ボタンで書き込みを開始するかどうか選択します。

End edit disc
and burn?Yes

LCD にはコピーの状態が表示されます。

Copying-24X Edit
2/10 -> 2/2

1 枚目と同様にコピーが行われます。

Burn Complete!
OK: 07

コピー終了後、編集を続けるか確認を求められるので、編集を終える場合は、” No” を選択します。

Continue edit
next Disc?No

セッションを終了するか確認を求められるので、” Yes” を選択します。

Closing Session
Please wait ---

終了すると、LCD には以下のように表示されます。

Closing Session
OK:10

2.10.2 CD to HDD エディット

▼ ボタンを押して、機能 10-2 を選択します。ここでは、オーディオ CD から好みの曲を HDD の任意のパーティションにコピーできます。

10-02. Edit Track
CD to HDD Edit

決定ボタンを押すと、以下のように表示されます。” 1/10” は 10トラック中の 1 曲目であることを意味します。” 03:25” のような表示は再生時間です。

Select Track:
1/10 03:25

1 曲目を収録したい場合、決定ボタンを押すと、トラックナンバーの横に”+”が表示され、1 曲目が選択されたことを示します。この状態でもう一度決定ボタンを押すと、”+”の表示が消え、選択が解除されます。

Select Track:
+1/10 03:25

収録したい曲を選んだら、▲ボタンで”End”メニューに合わせます。

Select Track:
End 1Trk03:25

決定ボタンを押すと、編集を終了してコピーを開始するか確認を求められるので、▲▼ボタンで Yes/No を選択します。

End edit disc
and burn?Yes

選択した曲がイメージファイルとして HDD に読み込まれます。LCD は読み込みの状態を以下のように表示します。

Load-P0-24X Edit
1/10 -> 1/1

読み込みが終わると、以下のようなメッセージが表示されます。

Image load OK

システムは編集を続けるか確認を求めするので、▲▼ボタンで Yes/No を選択します。

Continue edit
next Disc? Yes

編集を続けたい場合、現在のソース CD は自動的に取り出されます。システムは次に使用するディスクを入れるよう求めます。

Insert next disc

次に使用する CD をセットし、決定ボタンを押します。2 曲目を収録したい場合、2 曲目に合わせ、決定ボタンを押します。トラックナンバーの横に”+”が表示され、選択されたことを示します。

Select Track:
+2/10 04:25

選択が終了したら、▲ボタンで”End”メニューに合わせます。

Select Track:
End 1Trk04:25

決定ボタンを押して CD 編集を終え、▲▼ボタンで Yes/No を選択します。

End edit disc
and burn?Yes

選択したトラックが、イメージファイルとして HDD にコピーされます。LCD には読み込みの状態が以下のように表示されます。

Load-P0-24X Edit
2/10 -> 2/2

読み込みが終わると、LCD には以下のように表示されます。

Image load OK

システムは編集を続行するか確認を求めます。終了する場合、▼ボタンで No を選択します。

Continue edit
next Disc? No

システムは HDD のイメージから CD-R/RW に書き込むか、または別パーティションにコピーするか確認を求めます。▲ボタンを押し、書き込み (Burn) を選択します。

Burn or Move to
partition? Burn

決定ボタンを押すと、HDD に読み込まれたイメージから、CD-R/RW に書き込みが行われます。

Copy-P0-24X 0%
1/2 Trk03:25

書き込みが終了すると、LCD には結果が表示されます。

Burn Complete !
OK: 07

別パーティションに読み込んだイメージを移動したい場合、キャンセルボタンでひとつ前に戻って、▼ボタンを押して” Move” を選択します。

Burn or Move to
partition? Move

▼ ボタンを押して、イメージを移動させる先のパーティションを選択します。ここでは、” A” に移動させることにします。

Select Partition
A

決定ボタンを押すと、LCD には移動の状態が表示されます。

Moving to P:A
0%

移動が終了すると、LCD には結果が表示されます。

Moving to P:A
OK!

移動の際、選択したパーティションにすでにデータが存在する場合、上書きして良いか確認を求められます。▲ボタンを押して上書きを決定します。

Image Exists
Overwrite?Yes

決定ボタンを押すと、移動が始まり、LCD には情報が表示されます。

Moving to P:A
0%

移動が終了すると、LCD には結果が表示されます。

Moving to P:A
OK!

2.10.3 オーディオトラックの再生

この機能により、コピーコントローラをミュージックプレーヤーのように動作させることが可能です。ソースドライブのヘッドホンジャックにヘッドホンを接続し、音楽を楽しむことができます。

▼ ボタンを使用して機能 10-3 を選択します。

10-03. Edit Track
Play Audio Track

▼ ボタンで再生したいトラックを選択します。

Select Track:
1/10 03:25

選択したら決定ボタンを押すと、再生が始まり、LCD には再生情報が表示されます。

Playing Track-1
00:00 / 03:25

2.10.4 セッションの終了

この機能で CD の書き込みセッションを終了し、それ以上データが書き込みできないようにします。セッションを終了した CD は、通常のプレーヤーで再生し、音楽を聴くことができます。

▼ ボタンで、機能 10-4 を選択します。

10-04. Edit Track
Close Session

決定ボタンを押すと、セッションを終了して良い確認を求められます。

Close all disc's
session? Yes

Yes に合わせて決定ボタンを押すと、LCD には以下のように表示されます。

Closing Session
Please wait ---

完了すると、LCD には以下のように表示されます。

Closing Complete
OK:7 Fail:0

2.11 セットアップ

“Setup”メニューでは、初期設定の変更が可能です。設定を変更する場合、決定ボタンで設定を保存することを忘れずに行ってください。通常使用では、初期設定を変更せず使用することをお勧めします。” Setup”メニューには、21 個のサブ機能が存在します； Language, CD Burn Speed, DVD Burn Speed, Read Speed, Auto Start Drive, Startup Menu, Auto Verify, Auto Compare, Auto Prescan, Eject Disc, Burn On The Fly, Burn Mode, Display Time, Button Sound, Device Info, System Info, Quick Erase, Full Erase, Auto Close Tray, Quick Compare, Audio Burn Speed。

機能 11 を選択します。

11. Setup

2.11.1 言語設定

決定ボタンを押すと、以下のような画面になります。言語設定メニューでは、LCD に表示されるメッセージの言語が変更できます。

11-01. Setup
Language

さらに決定ボタンを押すと以下のような画面になり、言語の変更ができます。選択できる言語は以下の通りです (機種により異なるので、お好みの言語が選択できない場合もあります)。; 英語、スペイン語、日本語、中国語 (繁体)、中国語 (簡体)。

Lanuage
English

2.11.2 CD 書き込み速度設定

▼ ボタンでメニュー 11-02 に移動します。この機能では CD 書き込みの速度を設定できます。

11-02. Setup
CD Burn Speed

決定ボタンを押すと以下のような画面になります。書き込み速度は初期状態で”Auto”に設定されています。

CD Burn Speed
Auto

2.11.3 DVD 書き込み速度設定

▼ ボタンでメニュー 11-02 に移動します。この機能では DVD の書き込み速度を設定できます。

11-03. Setup
DVD Burn Speed

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。書き込み速度は初期状態で”Maximum(最大)”に設定されています。

DVD Burn Speed
Maximum

2.11.4 読み込み速度設定

▼ ボタンを押して 11-04 に移動します。この機能ではターゲット CD ドライブの読み込み速度を指定できます。

11-04. Setup
Read Speed

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。初期状態では” Maximum(最大)” に設定されていますが、以下の速度に指定することもできます; 32X、16X、8X。

Read Speed
Maximum

2.11.5 自動スタートさせるドライブの設定

▼ ボタンで 11-05 を選択します。自動スタートに指定したドライブは空のメディアを挿入すると自動的にコピーまたはテストを開始します。

11-05. Setup
Auto Start Drive

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。初期状態では、設定は” OFF” になっています。

Auto Start Drive
Off

2.11.6 スタートアップメニューの設定

▼ ボタンで 11-06 を選択します。スタートアップメニューでは起動時にどのメニューを表示させるか設定できます。

11-06. Setup
Startup Menu

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。初期設定では” Copy” になっています。他のメニューをスタートアップメニューとして設定することも可能です。その場合、▲▼ボタンと決定ボタンを使って設定します。

Startup Menu
1. Copy

2.11.7 自動ベリファイ設定

▼ ボタンで 11-07 を選択します。自動ベリファイは、コピーの終了後、自動的にベリファイを行う機能です。

11-07. Setup
Auto Verify

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。初期設定では自動ベリファイは無効になっています。▼ボタンで有効 / 無効の切り替えが可能です。

Auto Verify
Off

2.11.8 自動コンペア設定

▼ボタンで11-08を選択します。自動コンペア機能は、コピーの終了後、ソースDVDとターゲットDVDの内容を自動的に比較検証する機能です。

11-08. Setup
Auto Compare

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。初期状態では、自動コンペアは無効になっています。▼ボタンで有効 / 無効の切り替えが可能です。

Auto Compare
Off

2.11.9 自動プリスキャンの設定 (ARS-2039A にはこの機能はありません)

▼ボタンで11-09を選択します。自動プリスキャン機能は、ソースDVDが読み込み可能になったら、自動的にスキャンを行い、同時に読み込み速度のテストを行う機能です。

11-09. Setup
Auto Prescan

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。初期状態では自動プリスキャンは無効に設定されています。▼ボタンで有効 / 無効の切り替えが可能です。

Auto Prescan
Off

2.11.10 ディスク取り出し設定 (ARS-2039A にはこの機能はありません)

▼ボタンで11-10を選択します。"Eject Disc"には3通りの設定があります。すなわち、"Eject Good Only", "Eject All Disc", "Do not Eject"の3つです。Eject Good Onlyの設定では、コピー終了後、コピーが成功したディスクのみを取り出します。Eject All Discの設定では、コピー終了後、コピーの成否に関わらずすべてのディスクを取り出します。Do Not Ejectの設定では、コピー終了後、手動でトレイを開いて取り出す必要があります。

11-10. Setup
Eject Disc

決定ボタンを押すと、以下の画面が表示されます。▼ボタンで設定の変更ができます。

Eject Disc
Eject Good Only

2.11.11 直接コピーの設定

▼ボタンで11-11を選択します。Burn On The Fly 設定により、コピーの方法を設定できます。Burn On The Fly を” On(有効)”に設定すると、ソース DVD からターゲット DVD へ直接コピーが行われます。” Off(無効)”に設定すると、一度 HDD のパーティション内にイメージとして読み込まれ、その後コピーが行われます。

11-11. Setup
Burn On The Fly

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。▼ボタンで、有効 / 無効の設定を行います。

Burn On The Fly
On

2.11.12 書き込みモード

▼ボタンで11-12を選択します。”Burn Mode”の設定では、書き込みのモード変更を行うことができます。2つのモードが選択できます ; DAO(Disc At Once), TAO(Track At Once)。これらのモード切替は、CDコピー時のみ有効です。DVDコピー時に、誤った設定になっていると、コピーコントローラは自動的に正しい設定に切り替わります。

11-12. Setup
Burn Mode

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。初期状態では DAO モードに設定されています。▼ボタンで TAO モードに変更できます。

Burn Mode
DAO

2.11.13 時間表示設定

▼ボタンで11-13を選択します。コピー時に残り時間の表示を行うか設定が可能です。

11-13. Setup
Display Time

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。初期状態では有効に設定されています。▼ボタンを押して、有効 / 無効の切り替えが可能です。

Display Time
On

2.11.14 ボタン音の設定

▼ ボタンで 1-14 を選択します。操作音の設定を行うことができます。

11-14. Setup
Button Sound

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。初期状態では、” On” に設定されています。▼ ボタンで ” Off” に設定できます。

Button Sound
On

2.11.15 デバイス情報

▼ ボタンで 11-15 を選択します。デバイス情報では、接続されている光学ドライブの情報を表示できません。

11-15. Setup
Device Info

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。

00 CH01
S-MULTI:PIONEER

さらに決定ボタンを押すと、以下のように画面が遷移していきます。

DVD-RW DVR-112
1.22

2.11.16 システム情報

▼ ボタンで 11-16 を選択します。システム情報ではコピーコントローラのシステム情報を表示します。

11-16. Setup
System Info

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

2040P ver:1.05B
2007/12/20 ACARD

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

core_ver:0.59
2007/06/13

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

CopyAp ver:0.40
2007/12/20

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

DVD Duplicator
DDR Memory. 128M

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。

UI ver:0.40
2007/12/20

2.11.17 クイック消去

▼ ボタンを押して 11-17 を選択します。Quick Erase(クイック消去)では DVD リライタブルディスクのデータを高速で消去します。

11-17. Setup
Quick Erase

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。▲▼ボタンで消去の可否を選択します。

All data will be
lost, erase?Yes

“Yes” を選択し、決定ボタンを押すと、消去が開始され、LCD には以下のような画面が表示されます。

Erasing disc
00:25 (Quick)

消去が終了すると、LCD には以下のような画面が表示されます。

Quick Erase
OK: 10

2.11.18 全消去

▼ ボタンを押して、11-18 を選択します。Full Erase(全消去)を行うと、DVD リライタブルディスクに書き込まれたデータを完全に消去します。クイック消去に比べて、全消去は長時間を要します。

11-18. Setup
Full Erase

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。▲▼ボタンで消去の可否を選択します。

All data will be
lost, erase?Yes

Yes を選択し、決定ボタンを押すと、LCD には以下のようなメッセージが表示されます。

Erasing disc
45:00 (Full)

消去が終了すると、LCD には以下のような画面が表示されます。

Full Erase
OK:10

2.11.19 自動トレイクローズ設定

▼ ボタンで 11-19 を選択します。自動トレイクローズ機能は、書き込みドライブのトレイを自動的に閉じる機能です。この機能は機能 11.5 Auto Start Drive と関連する機能です。機能 11.5 で自動コピー機能を有効にしたドライブを指定していない場合、本機能は利用できません。

11-19. Setup
Auto Close Tray

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。

Auto Close Tray
5

この画面での "5" は、コピーが終了し、自動的にトレイが開いたあと、5 秒後に自動的にトレイを閉じる設定を意味しています。時間は、5 秒以外に、10,15,20,25,30,35,40,45,50 秒が選択可能です。仮に、設定 11-05 でドライブを指定し、本機能を 10 秒に設定した場合、そのドライブはコピー終了後 10 秒経過すると自動的にトレイを閉じます。

2.11.20 クイックコンペア

▼ ボタンで 11-20 を選択します。クイックコンペアは、機能 5. コンペアと関連する機能です。本機能では、エラーの許容量をバイト単位で指定します。ターゲット DVD に、指定したバイト数を超えるエラーが起きた場合、そのドライブについては、コンペア作業を停止させます。残りのドライブについては引き続きコンペアを実行します。

11-20. Setup
Quick Compare

決定ボタンを押すと以下のような画面が表示されます。初期状態では、クイックコンペアは Off(無効)になっています。三角ボタンと決定ボタンで、エラーの許容量を指定します (1 Byte, 1 KB, 10 KB, 100 KB, 1 MB といった形式です。)

Quick Compare
Off

2.11.21 オーディオ CD 書き込み速度

▼ ボタンで 11-21 を選択します。Audio Burn Speed(オーディオ CD 書き込み速度) の設定で、オーディオ CD の書き込み速度を指定できます。

11-21. Setup
Audio Burn Speed

決定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。所期状態では、auto(自動) に設定されています。オプションとして、最大 ,40X,32X,24X,20X などから、任意に書き込み速度を設定可能です。

Audio Burn Speed
Auto

第3章 トラブルシューティング

3.1 LCD 関連

電源を入れても LCD に何も表示されない場合、電源コードが接続されているかを確認してください。

3.2 エラーメッセージ関連

コピー、テスト、コンペア、ベリファイなどを行っている際にキャンセルボタンで途中停止すると、エラーメッセージが LCD に表示されます。このときまれにコピーコントローラがハングアップする場合がありますが、その場合は再起動を行ってください。

読み込みに失敗した場合も、LCD にエラーメッセージが表示されます。この場合、別のソース DVD をご用意ください。

また、コピーコントローラ起動時にデバイスが検出されない場合にも LCD にエラーが表示されます。

3.3 DVD-ROM/DVD ライター関連

ドライブが読み込めない場合、ソース DVD の形式と、ディスクに傷がついていないか確認してください。

3.4 ボタン関連

コピーコントローラ前面のボタンを押しても反応しない場合、そのボタンがジャンパで無効にされている場合があります。ジャンパを確認してください（ジャンパの設定は機種毎のマニュアルを確認してください）。

3.5 コピーしたディスクが読み込めない場合

コピーしたディスクが読み込めない場合、コンペア機能を使って比較検証してみてください。またメディアを交換して試してみてください。

3.6 頻繁にコピーに失敗する場合

このような場合、以下の点を確認してください。

- DVD ライターの書き込み速度を下げる
- コピー用の空メディアの品質に問題がないか確認する
- ファームウェアのアップデート
- DVD ライターの最大書き込み速度を確認し、8X を超えるような場合、いったん HDD にイメージを作成してからコピーを行う。

3.7 ファームウェアアップデート

ファームウェアのアップデートがうまくいかない場合、適切なファームウェアをダウンロードしているか確認してください。

誤ったファームウェアを適用してしまうと、コピーコントローラが起動しなくなります。この場合、販売代理店にコピーコントローラの修理を依頼してください。

LCD メッセージの補遺

1. 通常表示されるメッセージ

All data will be lost, erase?.....	ディスクのデータがすべて消去されます。確認してください。
Analyzing.....	ソースディスクの分析中。
Audio Disc!!! Can't compare!.....	オーディオディスクではコンペア機能は利用できません。
Cannot read TOC.....	ディスクの内容を読み込むことができません。
Check Target Please Wait	ターゲットデバイスをチェック中。
Detect Drives.....	接続されているドライブを検出中。
DVD-RW does not Support the Func.....	DVD-RW はこの機能をサポートしません。
Erase Finished.....	データの消去が完了しました。
Erasing disc.....	ディスク上のデータを消去しています。
Fail to get Drive Info!.....	ドライブの情報が取得できません。
Fail to get Src Disc Info!.....	ソースディスクの情報が取得できません。
Hold ESC to exit.....	テストを終了させるには、キャンセルボタンを押し続けてください。
Identical.....	コンペアの結果、内容が同一でした (コンペアに成功しました)。
Initialize SDRAM.....	システムのメモリを初期化しています。
Load Default Config?.....	デフォルト設定を読み込みますか？
No Erasable Disc in DVD-RW!!.....	DVD-RW 内のディスクが上書きできません。
Preparing.....	システムは記録の準備中です。
Press a Key to Eject Fail Disc.....	コピーに失敗したディスクを取り出すにはキーを押します。
Press a Key to Eject Good Disc.....	コピーに成功したディスクを取り出すにはキーを押します。
Read disc error	コンペア中にディスクが読み込めなくなりました。
Save new config Fail!.....	新しい設定が保存できませんでした。
Source Disc Empty!!!.....	ソースディスクに何も情報がありません。
Source Disc Not Ready.....	ソースディスクの読み込みが準備できていません。
Source Drive Not Ready.....	ソースドライブの読み込みが準備できていません。
Src&Tgt can't in the same channel.....	コンペアを行う場合、ソースディスクとターゲットディスクは同じチャンネルに接続できません。
Target Disc Not Empty!!!.....	ターゲットディスクにデータが存在しています。
Target Disc Not Ready.....	ターゲットディスクに書き込み準備ができていません。
Target Drive Not Ready.....	ターゲットドライブに書き込み準備ができていません。
Target overflow.....	ターゲットディスクの空き容量が不足しています。
TOC not match.....	コンペアの結果、内容が一致しませんでした。
User Abort!.....	操作中にキャンセルされました。

2. HDD を接続している場合

All data will be lost, format?.....	HDD 内のすべてのデータが消去されます、確認してください。
Delete Image in Partition xx?	パーティション xx 内のイメージを消去します、確認してください。
Format HDD?.....	HDD をフォーマットします、よろしいですか？
Format HDD OK!	HDD のフォーマットが終了しました。
HDD not Format!.....	HDD がフォーマットされていません。
HDD too small	HDD 容量が小さすぎます。
HDD too small to handle image!.....	HDD の残り容量がイメージを入れるために不十分です。

Image Exists Overwrite?.....パーティションにイメージが存在しています上書きしてよろしいですか？
Image load Fail.....DVD から HDD に正常にイメージがロードできませんでした。
Image load OK.....DVD から HDD に正常にイメージがロードされました。
No Image in Partition xx.....パーティション xx にイメージが存在しません。
No Valid HDD!.....HDD が検出できません。
Partition Damage.....パーティションが破損しています。
Select HD First!.....はじめにフォーマット済みの HDD を選択してください。
Verify Disk or Partition?.....HDD 全体を検証するか選択パーティションのみを検証するか選択してください。
Verify Hard Disk Fail!.....HDD の検証に失敗しました。

3. オーディオエディットモード

Burn or Move to partition?.....データを直接ディスクにコピーしますか？それとも一度 HDD のパーティションに移動しますか？
Can't edit HDD.....HDD はソースとなるオーディオディスクとして選択できません。
Close all disc's session?.....ディスクセッションを終了しますか？
Continue edit next Disc?.....音楽ディスクの編集を続けますか？
End edit disc and burn?.....編集を終了して書き込みを行いますか？
Erase selected Tracks?.....トラックの選択を終了し、編集情報を破棄しますか？
Ins empty disc Continue?.....空メディアを入れ替えてコピーを続けますか？
Insert next disc.....次のオーディオ CD を挿入してください。
NO AUDIO track in this disc.....ソースディスクにオーディオトラックが収録されていません。
Sessions were closed already!.....ディスクとのセッションは終了済みです。
Target Overflow Re-Select.....選択したトラックを収録するにはディスク容量が不十分です。トラックの選択をやり直してください。
Tgt overflow, del last trk?.....選択したトラックを終了するにはディスク容量が不十分です最終トラックは削除してよろしいですか？

4. ファームウェア アップデート

Check Sum Error!.....アップデートしたファームウェアに問題があります。
Flash ROM fail!.....フラッシュ ROM にデータが書き込めません。
Invalid firmware.....ディスクに正しいファームウェアが収録されていません。
Last update F/W Fail!.....ファームウェアのアップデートに失敗しました。
Last update F/W OK!.....ファームウェアのアップデートに失敗しました。
Searching F/W.....適切なファームウェアを探しています。
Source can't be Hard Disk!.....HDD をコピー元として利用することはできません。

Technical Support Form

Email address: support@acard.com

Website: http://www.acard.com

Model Name* (ex: ARS-2053B)		Firmware version*	
System Configuration			
Motherboard/System model*			
SCSI host adapter/chip brand & model*			
SCSI host BIOS version			
Other I/O card*			
Operating System*			
SATA HDD brand & model*			
SATA HDD capacity			
SATA HDD firmware			
Problem description*			

『 * 』 is required